

# 後腹膜肉腫 診療ガイドライン

監修 日本サルコーマ治療研究学会, 日本癌治療学会

協力 日本整形外科学会, 日本泌尿器科学会, 日本臨床腫瘍学会,  
日本病理学会, 日本医学放射線学会, 日本婦人科腫瘍学会

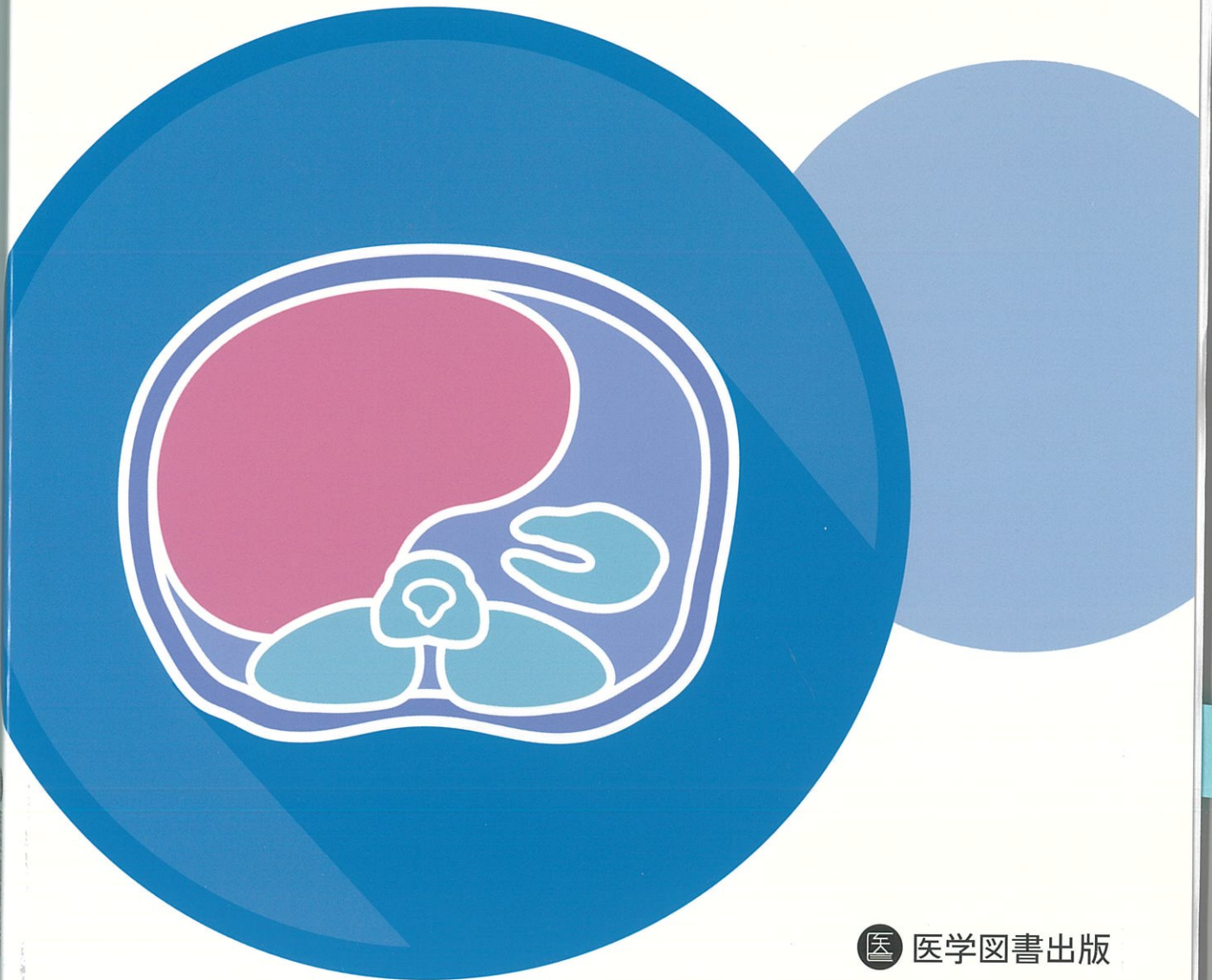


表1 COI 開示サマリー

COI 開示サマリー	
個人的 COI	組織的 COI
経済的 COI ・ 特定の企業／団体から本人、家族への経済的利益の提供 ・ 研究費取得の利益 ・ 機器、人材、研究環境の提供、他 (COI)	経済的 COI ・ 特定の企業／団体から学会・研究会などへの経済的支援 ・ 学会・研究会の経済的發展、他 (COI)
(上記への対応方針)	(上記への対応方針)
経済的 COI 以外の COI ・ 研究活動 ・ 個人の専門性・選好 ・ 昇進・キャリア形成 ・ 師弟関係などの人間関係、他 (COI)	経済的 COI 以外の COI ・ 学会・研究会などが推奨する専門性 ・ 学会・研究会などの学問的發展 ・ 利害関係のある他組織との競争関係、他 (COI)
(上記への対応方針)	(上記への対応方針)

### 3) 利益相反

COI 管理方針および管理方法については、日本医学会診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス（平成 29 年 3 月発行）に基づき、統括委員会で協議した結果、COI に関しては本診療ガイドライン作成に関与する委員長・統括委員・作成委員・システマティックレビュー委員のすべての個人本人とその配偶者、1 親等親族または収入・財産的利益を共有する者が COI 開示の対象とする方針とした。それぞれの委員の COI は、個人的 COI および組織的 COI、また経済的 COI および経済的 COI 以外の COI について収集された（表 1）。

また各 CQ の推奨の強さの決定に関する投票においては、投票前に COI に抵触する可能性がある場合には、自己申告制で投票に参加しないこととした。

本診療ガイドライン作成組織を構成する委員は、後腹膜肉腫の診療に関わる学会から幅広く参加することで、意見の偏りを防いだ。

### 4) 作成資金

本診療ガイドラインの作成に要した資金は、すべて厚生労働科学研究費補助金「希少癌診療ガイドラインの作成を通じた医療提供体制の質向上」（代表者 小寺泰弘）から支出されたものであり、その他の組織、企業からの支援は一切受けていない。また上記資金の提供者は本診療ガイドラインの推奨内容には一切影響を与えていない。